

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富 一郎
(4571 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 兼 社長室長 中塚 琢磨
電話番号 04-7197-7622

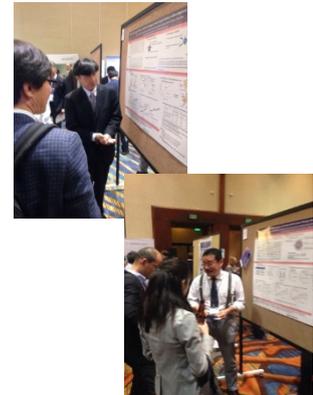
World ADC 2014 で研究成果を発表

腫瘍への抗がん剤のデリバリー技術として注目されている Antibody Drug Conjugate (ADC) 技術の世界的な学術集会である World ADC 2014 が 2014 年 10 月 26 日(日)~29 日(水)に米国(サンディエゴ)で開催され、当社の研究成果について発表しましたのでご報告致します。

本会は、抗体が持つ特長を生かしたアクティブターゲティングを目指す先進的かつ効果的な医薬品、特に抗がん剤の開発を推進するため、技術面での活発な議論や発表をするための学術集会です。今回も ADC の研究開発に携わる欧米、日本の大手製薬・バイオ企業や大学などの 230 の組織・機関から 550 名を超える専門家が世界各国から参加しました。集会の概要については下記の Web サイトを参照ください。

<http://adc-summit.com/>

当社からは事業開発部及び研究部門の部長及び主席研究員が参加し、次世代医薬品開発のため意欲的に研究を推進する自社技術「ADCM : Antibody/Drug-Conjugated Micelle (抗体/薬物結合ミセル)」について、2 つの発表およびブース展示を行いました。



演題 : Antibody/Drug-Conjugated Micelle as a platform technology for tumor-targeted delivery with an improved therapeutic index

演題 : NanoFect™: New Delivery System of Nucleic Acid for Cancer Therapy using Micellar Nanoparticle Technology

抗体とミセル技術を組み合わせる ADCM は、ADC の次世代を担う可能性を持つ新しい技術です。本会でも ADCM の研究発表には数十名の参加者に参集いただき、ADCM では抗体当たりの薬物デリバリー量が多いこと、多くの薬剤とセンサーの組み合わせが可能であることなど、ADC 技術と比較した ADCM の特長に参加者の大きな関心を集めたと、現地より一報が入りました。当社は、本会での講演や展示での説明・意見交換を通して、ADCM が ADC 技術と一線を画す技術であり、ADCM が次世代 ADC 治療薬を担う可能性が示唆されたと考えています。今後も、ADCM のさらなる研究開発に挑戦して参ります。

当社は、これまで、世界の医薬品トレンドを見据えた研究を着実に進めて参りました。今後も、ADCM を含むミセル化ナノ粒子技術の有用性を世界に向けて発信する機会を増やし、グローバルなレベルで当社技術力を向上し、かつその認知度を高める努力を継続して参ります。

以上